

「ながらスマホ」の危険性について

家族で
話し合おう

スマートフォンの普及にともない、何か別のことをしながらスマートフォンを操作する「ながらスマホ」が急増し大きな問題となっています。街中でも、歩きながらスマートフォンを操作している人をよく見かけるようになりました。

「ながらスマホ」はとても危険な行為です。重大な事故を招いてしまうこともあります。

自分は大丈夫という考えが重大な事故に……

子どもたちが注意しなくてはいけないのが、歩行中や自転車運転中の「ながらスマホ」です。歩きながらスマートフォンを使っていて駅のホームから転落したり、階段で転倒したり、自転車の運転中にスマートフォンを使っていて歩行者とぶつかり大けがをさせたり、といった事故も実際に起きています。

「ながらスマホ」をする人たちは、「自分なら大丈夫」「みんなもやってるし、ちょっとくらい平気だろう」と考えているのかもしれませんが、しかし、スマートフォンを操作していると、視野がせまくなりますし、手がふさがっているため、こけたときに受け身がとれなかったり、自転車のブレーキがかけられなかったりして、重大な事故につながる可能性があるのです。



「ながらスマホ」をおこなわないように

「ながらスマホ」は自分だけでなく、他人まで危険にさらすものです。そのことをしっかりと理解し、歩行中や自転車運転中にスマートフォンを操作するときは、必ず止まった状態で、周囲に迷惑がかからない場所でおこなうようにしましょう。